



# 3月幼稚園だより

令和8年3月2日  
千代田区立番町幼稚園  
園長 美越 英宣

## 学びの実りとともに年度の締めくくりを迎えて

園長 美越 英宣



(番町幼稚園HP)

柔らかな日差しに春の気配が感じられるころとなりました。園庭を吹き抜ける風にも、どこか温もりが宿り、子どもたちの笑顔をいっそう輝かせてくれる季節を迎えています。

いよいよ今年度の締めくくりとなる3月を迎え、子どもたちが歩んできた日々を思い返すと、その確かな成長に深い喜びと感謝の念を覚えます。

2月に実施いたしました園公開では、多くの保護者や来賓の皆様にご来園いただき、温かいご理解とご協力のもと、本園の教育活動をご覧いただきました。

3歳児もも組の「ぼかぼか手袋を作ろう」では、ふわふわの手袋にするために毛糸を何重にも巻いたり、様々な色を組み合わせたたりしながら、自分だけの手袋を作り上げようと夢中になる姿がありました。毛糸を大切に扱い、思い描いた形に近付けようとする過程には、幼いながらも豊かな表現の芽生えを感じることができました。

4歳児さくら組の「じゃんけん列車」では、勝って嬉しい気持ち、負けて悔しい気持ち——そのどちらも受け止めながら、友達と何度も繰り返し挑戦する姿が見られました。気持ちを交わし合いながら遊びを進めていく過程には、まさに仲間とともに成長していく幼児期ならではの姿が、いきいきと表れていました。



5歳児うめ組の「うめランド」では、子どもたちが心を寄せ合い創り上げた世界をお店として開き、保護者の皆様を招待して共に楽しむ姿がありました。さらに、保護者の皆様にもお店の人になっていただき、子どもたちがお客さんとして回るなど、温かなお力添えのもと、笑顔と歓声に満ちたひとときを過ごすことができました。子どもたちが自分の思いを形にし、相手を喜ばせたいという気持ちをもって活動する姿に、成長の確かさを改めて感じました。

また、保護者や地域の皆様にご協力いただいた保護者アンケート・園評価につきましては、取りまとめて幼稚園運営連絡会と保護者会で配布させていただきました。

今年度、重点的に取り組んできた教育目標である「考える子」に関して、子どもたちが主体的に遊びに取り組める環境の整備に対する質問では、実に98%の保護者の皆様から肯定的なご回答をいただきました。改めまして厚く御礼申し上げます。

今後も、子どもたち一人一人の経験と意欲を大切に、安心して過ごすことのできる環境づくりに努めてまいります。

年度末を迎えるに当たり、この一年、保護者や地域の皆様には、園の教育活動に温かいご理解と変わらぬご支援を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。

令和8年度も、どうぞ変わらぬご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



満開の梅の木の下で